

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネクストエール立川上砂教室			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 15日 ~ 2025年 5月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)	33名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 15日 ~ 2025年 5月 2日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域をバランスよく取り入れたプログラムができている	プログラム会議を毎月行い、活動の見直しや提案を行っている	新しい活動を取り入れマンネリにならないように内容がさらに充実するように心がける。
2	家庭との連携を日々のフィードバックを通して行っている	送迎時に直接お伝え出来るご家庭にはお伝えするようにしている	保護者の方が不在のご家庭だとなかなかフィードバックが難しいので、連絡帳やメールなどのツールを使ってお伝えできるようにしていきたい。
3	学校の長期休暇の時など室外活動のバリエーションを増やし普段できない余暇活動を取り入れている	普段学校がある時には行けない所を企画し、室外活動や余暇活動の充実を図っている。	幅広い分野からリサーチし、無理のない範囲での活動を取り入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流ができない。	ハロウィンの時に近くの店舗に協力いただくことはあったが、教室を開く事ができない。	教室を開くことは難しいが、近隣施設(特別養護老人ホームや児童館)での交流を企画していきたい。
2	保護者会などの保護者交流の場が少ない	年に一度になってしまっているので、機会を増やしていきたい。	時期を決めてそこで複数回できるようにしていきたい。
3	ペアトレや家族研修が行えていない	日程の確保が難しかったため	保護者会の前に研修を取り入れる

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ネクストエール立川上砂教室
------	---------------

公表日 令和 7 年 6 月 25 日

利用児童数 2025年5月19日 39名

回収数 33名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	6	0	0	外遊びもあって適切に運動ができる	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	2	0	2	曜日ごとの担当の先生を把握できていない。 職員の確保が難しい状況であったため、少し不安に感じた。	当日の主担当職員については変更が生じることもありお知らせしていませんが、人員配置については不足なく行なっていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	1	0	0	様々なプログラムがあり毎回楽しみにしている。	より充実した内容になるよう職員一同取り組んでいきたいと思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	6	14	トラブルになるため行なってほしくない。 必要を感じない	地域交流の場が設けられた時には、十分な人員配置を行い、トラブルに繋がらないようしっかりと見守りを行い児童たちが楽しめる場にしていきたいと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	2	ここ半年は面談の機会がなかったため	半年に一度の面談が延期になった場合はなるべく早い日程で行なうようにいたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	10	2	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	33	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1	0	1	2023年度までは行われていました。	保護者会が保護者の方の交流の場の機会になるよう、定期的に行なうようにしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	7	5	12	必要を感じない。	行なう時には各家庭のご負担にならないような企画をしていきたいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1	0	4		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	0	0	0	連絡帳に記入した事項について、口頭もしくは連絡帳にて返答があるとありがたい。	連絡帳で質問があった時には速やかにお返事できるよう職員一同情報共有をし、対応できるようにいたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	0	0	1	インスタを見ている。子どもの様子が見られてうれしい。	今後も引き続きインスタで教室でのお客様の様子を発信していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1	0	4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	2	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	1	1	0	スクストエールが見えると嬉しそうにしている。色々と試行錯誤していただき、本人も楽しく過ごしている。いつも楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0	様々なプログラム内容を体験し感謝している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ネクストエール立川上砂教室	公表日 令和 7 年 6 月 25 日			
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		児発と放ディが一緒の利用の場合、集団療育の時の区分けができず、室外活動を入れて物理的に離れて療育を行うことが多かった。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	療育現場の職員配置は不足なく行えている	運転できる職員が日によっては十分な確保はできていない。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	カラーテープを貼り視覚的にわかりやすく環境整備をしている。 視覚障害者に対して、布ガムテープを貼ったり凹凸をつけて足の裏の感覚で移動できるようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	使った玩具は療育後に消毒している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	相談室をクールダウンの場として使用している	
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	企画書作成や職員の業務分担を決め、目標設定を行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	保護者の方の意見を真摯に受け止め、ニーズに合った改善策を提案し業務改善に繋げている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	職員が話しやすい環境づくりを意識し、風通し良好に発言しやすい職場作りを心掛けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	教室への外部評価の意見を改善へ繋げている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	定期的に会社内で研修を行っている。	
適 切 な 支 援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	月のプログラムを毎月保護者の方にはメールや紙でお伝えしている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	6か月に一度面談を行い、保護者の声に沿った個別支援計画書を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	個別支援計画書や面談記録、サービス提供記録など全職員で共有して共通理解できるようにしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	作成後も職員に共有し計画に沿った支援が行われている	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	アセスメントシートや個人シート等、児童記録等で児童の状況把握し職員間で共有している。	
適 切 な 支 援	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	ガイドラインに沿って作成している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	プログラム会議を行い、職員で内容を考え詰めている。	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	季節行事を取り入れたり、内容がマンネリ化しないよう にしている。 各曜日バランスよく活動を取り入れるように心掛けている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	集団療育の時間と個別療育の時間を設け、それぞれの課題で取り組む事ができている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	ミーティングを毎朝行い、その日のプログラムや職員の動きを確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	療育後は勤務時間がそれぞれ違うこともあり、揃って振り返りが難しいので、翌日のミーティングで伝達事項を伝えるようにしている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	職員で分担して行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的にモニタリングを行い見直しを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	1	バランスよく取り入れて行っている	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	子ども主体になるように活動を進めるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2		サービス担当者会議については開催されていない。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	学校送迎の時に先生と情報共有をするようにしている。	医療ケアは該当児がない。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校や家庭と連携して行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	保護者と面談時に情報共有をしている	就学前の通っていた施設に関しては連携が取れていない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2		該当児がまだいない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	児童部会が企画する研修会に参加している。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	4		地域交流はできていない。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	教室から一人参加するようにしている。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時にフィードバックをし、共有するようにしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	保護者から要望がある時には別に面談を設けるようにしている。	家族参加の研修は行えていない。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	保護者に伝わるようにわかりやすく説明している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	面談で保護者の声を聴きそれに沿ったサービス提供をしている。	

保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	保護者の方と面談し、目標や評価を説明し同意をいただく事ができている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	ご相談があった場合は日程を決めて面談を行っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	年に1度保護者会を開いている。	保護者会を開いているが回数が少ないため交流の場になっていない。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	保護者からお話があった時にはすぐに上長に報告し対応策を考えて動けるようにしている。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	日々のインスタやホームページで発信している	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	配布物など間違えの内容にダブルチェックを行っている。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	言葉選びに配慮しながら情報共有を保護者の方と行っている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		地域住民の方との交流は行えていない。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	各マニュアルをもとに行なっている。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	毎月行っている。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	教室のマニュアルに沿って行っている	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	家庭とも情報共有をしながら行っている	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	研修や定期的に自己点検している	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	個人シートを作成したりと保護者の方にもご協力いただいている。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットは全職員で目を通し再発防止に向けて意見を出している	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修を行っている	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	対象児童がいないが、必要な時には保護者と相談し支援計画に明記する	対象児童がいない